

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 竜華跡地開発計画	階数	地上4F
建設地	大阪府八尾市春日町	構造	S造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	218 人
地域区分	5地域	年間使用時間	2,920 時間/年(想定値)
建物用途	事務所、工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年2月 予定	評価の実施日	2019年8月22日
敷地面積	2,869 m ²	作成者	吉見 岳
建築面積	1,069 m ²	確認日	2019年8月22日
延床面積	3,234 m ²	確認者	吉見 岳



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
<p>BEE = 1.5</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B: ★★ C: ★</p>	<p>標準計算</p> <p>①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	

2-4 中項目の評価(バーチャート)		
<p>Q 環境品質 Qのスコア = 3.0</p>		
<p>Q1 室内環境 Q1のスコア = 3.3</p>	<p>Q2 サービス性能 Q2のスコア = 3.1</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内) Q3のスコア = 2.5</p>
<p>LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.7</p>		
<p>LR1 エネルギー LR1のスコア = 3.8</p>	<p>LR2 資源・マテリアル LR2のスコア = 3.6</p>	<p>LR3 敷地外環境 LR3のスコア = 3.5</p>

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>高い外皮性能、効率の良い設備機器を使用しており、エネルギー消費、環境負荷低減になるように設計されている。</p>	<p>その他</p> <p>特になし。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>全能的にF☆☆☆☆を使用している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>1階階高4.30mと階高にゆとりがある。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>建物がまちなみや風景にバランスよく調和されており、植栽も行って景観への配慮も行っている。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LED照明器具を採用している。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>発泡剤ポリスチレンフォーム、ロックウール断熱材を使用している。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>光害対策ガイドラインの一部を満たす取り組みを行っており、広告物照明の扱いの一部を満たしている。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

H31-0073

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】		建物名称	(仮称)竜華寮跡地開発計画					
		建設地	大阪府八尾市春日町					
		用途/区分	事務所 工場					
【評価結果】	CASBEE 総合評価						A	
①	CO2削減						4	
②	みどり・ヒート アイランド対策						2	
③	建物の断熱性						5	
④	エネルギー削減						4	
⑤	自然エネルギー直接利用						—	
再生可能エネルギー 利用施設の導入状況		太陽光発電	○	風力	—	地熱	—	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—	—
エネルギー消費量の報告						報告しない		
【評価項目】								
項目		評価内容				スコア	評価	
① CO2削減		CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価				3.8	4	
② みどり・ヒートアイランド対策								
生物環境の保全と創出		CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価				1.0	2	
敷地内温熱環境の向上		CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価				4.0		
温熱環境悪化の改善		CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価				3.0		
③ 建物外皮の熱負荷抑制		CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価				5.0	5	
④ 設備システムの高効率化		CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価				4.0	4	
⑤ 自然エネルギー利用		CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価				3.0	—	
エネルギー消費の実態把握に努める		エネルギー消費量の実績を3年間報告する。				報告する 報告しない	報告しない	
その他								
先進的技術の導入		技術の名称			考慮事項			
特に配慮した事項								